

Myopine (マイオピン) 点眼薬が選ばれる理由とは？

Myopine (マイオピン) は、近視の進行を遅らせる (眼軸長の伸展を抑制する) という点で統計的にも臨床的にも有意義な効果が確認されている治療法の一つです。

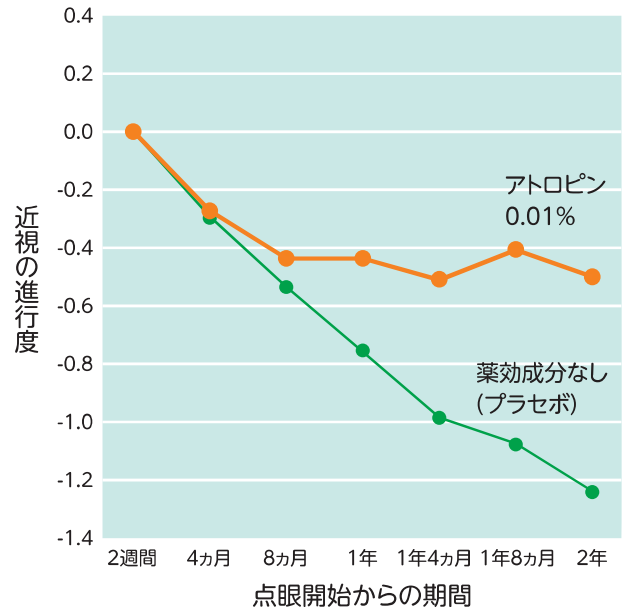
最適な濃度 (0.01%、0.025%) のアトロピンを配合する事により、近視の進行スピードを効果的に抑えると同時に、アトロピン 1% 点眼薬よりも副作用を軽減しています。

◆ 重篤な副作用の報告はありません。*

*この薬の本来の作用により、一時的に瞳孔 (黒目) が大きくなりまぶしく感じますが、数時間でほぼ正常な状態に戻りますのでご心配ありません。

◆ 近視の進行を平均約 60% 軽減させる良好な点眼薬と言われております。*

0.025% 製剤は 0.01% 製剤と比べ、より優れた近視進行抑制効果を示すことが確認されていますが、0.01% 製剤よりもまぶしさを感じやすくなる場合があります。



●アトロピン 0.01%: 2年に渡る近視進行度 → 平均 -0.49D

●薬効成分なし(プラセボ): 2年に渡る近視進行度 → 平均 -1.20D

Myopine (マイオピン) 点眼薬は安全ですか？

シンガポール、および香港で行われた研究結果の安全性については以下の報告がありました。*

1. 点眼終了後、目の遠近調節機能の低下、および瞳孔がひらき続けてしまうという報告はありませんでした。
2. アレルギー性結膜炎、および皮膚炎の発生は殆どありませんでした。
3. 眼圧に影響を与えるという報告はありませんでした。
4. 白内障を発症させるという報告はありませんでした。
5. 電気生理学上、網膜機能に影響を与えるという報告はありませんでした。



参考文献

- ※
- 1) Chua WH, Balakrishnan V, Chan YH, Tong L, Ling Y, Quah BL, Tan D. Atropine for the treatment of childhood myopia. . Ophthalmology 2006;113:2285-2291 © 2006 by the American Academy of Ophthalmology.
 - 2) Chia A, Chua WH, Cheung YB, Wong WL, Lingham A, Fong A, Tan D. Atropine for the treatment of childhood myopia: safety and efficacy of 0.5%, 0.1%, and 0.01% doses (Atropine for the Treatment of Myopia). Ophthalmology 2012;119:347-354 © 2012 by the American Academy of Ophthalmology
 - 3) Yam J, Jiang Y, Tang SM, Law A, Chan J, Wong E, Ko S, Young A, Tham C, Chen LJ, Pang CP. Low-Concentration Atropine for Myopia Progression (LAMP) Study, A Randomized, Double-Blinded, Placebo-Controlled Trial of 0.05%, 0.025%, and 0.01% Atropine Eye Drops in Myopia Control. Ophthalmology 2018;-:1-12 © 2018 by the American Academy of Ophthalmology
 - 4) Yam J, Li FF, Zhang X, Tang SM, Yip B, Kam KW, Ko S, Young A, Tham C, Chen LJ, Pang CP. Two-Year Clinical Trial of the Low-Concentration Atropine for Myopia Progression (LAMP) Study, Phase 2 Report Ophthalmology 2020;127:910-919 © 2019 by the American Academy of Ophthalmology